

皆さん、おはようございます。12月1日、今日から「師走」ですね。

師走の「師」は「学校の先生」だという人もいますが、人生の師である「お坊さん」が忙しく走り回ることから来ているなど、幾つかの説があるようですが、日本では昔から年末の慌ただしさを表す言葉として使ってきたようです。本校では、他の市立小・中学校と違って、学校は24日までで、冬休みが今年25日から始まりますから、登校するのは19日しかありません。忙しくなりそうです。

さて、前回の朝礼では、後期始業式で話した Mindset の話を受けて、「ぶれないこと」について話しました。3つのGを身に付けていく中で、「ぶれないこと」「信念を曲げないこと」が大切だけれども、簡単なことでは無い。しかし、本校での皆さんの学びには、「自分自身の将来をより良いものにしていくことによって、社会や世界もより良いものにしていく」という、はっきりとした目的がある。それがぶれなければ、いつか目的に達することが期待できる。そんな話をしました。

今日は、その話に引き続いて、皆さんの MOIS での学習成果についてお話しします。

本校は校名に「国際」が入っていることから、また本校のスローガン「ここで学ぶ世界の未来のつくり方」から分かるように、各教科の中でもグローバルスタディに大きな特徴があることはご存知の通りです。そこで、今日は英語の学習成果について、皆さんが8月末から9月上旬に受けた2つの外部テスト、英検 IBA と GTECcore を例にお話しします。

まず英検 IBA ですが、これは「英検」を実施している「日本英語検定協会」によるテストで、「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能を総合的に確かめようとするものです。そのうち今回は、短時間で一斉に実施できる「読む」「聞く」の2技能のテストを受けてもらいました。これは、さいたま市教育委員会が実施し、全ての市立中学校の全学年が受験したものです。そのため、実施するテストのレベルは、AからEまで5段階ある中で、全ての学校で1年生は最も易しいE、2年生は次に易しいDと決められていました。

本校では当日欠席者を除き、1年生は158人が、2年生は151人が受験しました。皆さん一人一人の成績は、9月時点で既に手許に届いており、自分の成績は分かっているはずですので、ここでは学校としてのトータルな成績についてだけ話します。

1年生は800点満点中の平均は732点で、得点率91.5%でした。つまり100点満点だとすると、平均91.5点ということです。これは英検の級レベルだと、3級レベルの力だそうで、中学校卒業程度とのことです。

2年生は1000点満点中の平均は906点で、得点率90.6%でした。これは英検の級レベルだと、準2級レベルの力だそうで、高校中級程度とのことです。

いずれも入学後4カ月もしくは1年4カ月、通常登校再開後2カ月にして、平均して少なくとも2年半先の学年レベルには達しているということになります。

次にGTECですが、これはベネッセコーポレーションのテストで、やはり英語4技能を評価しようとする、各技能210点、計840点満点のテストです。こちらも、さいたま市教育委員会が全ての市立中学校の2年生だけを対象に実施したもので、そのためテストのレベルは、Advanced、Basic、Coreの3段階ある中で、最も易しいCoreと決められていました。

ここでも学校としてのトータルな成績についてだけお話しすると、まず全国の公立中学校の平均は374点で、得点率44.5%だったそうです。100点満点だとすると、平均44.5点ということですね。次に、さいたま市立中学校全校の平均は415点で、得点率49.4%だったそうです。全国平均より41点、得点率で5ポイント近く高い成績です。さいたま市は、昨年の全国学力・学習状況調査で、中学生の英語の成績が全国一だったので、やはり高い成績を示しています。

そして、本校2年生の受験した155人の平均はというと、678点で得点率80.7%でした。全国平均より304点、得点率で36ポイント以上高い成績です。この成績は、ベネッセの方の話では、「飛び抜けて高い」のだそうです。

また、政府が設定している中学校卒業段階での目標目安である CEFR-J の A1.2 に到達していない本校受験者は 0 人で、高校卒業段階の目標である A2 に到達している生徒が、既に半数近くいました。CEFR(セファール)は、ヨーロッパを中心に世界的に使われている語学力のレベルを示す国際基準ですが、その日本版が CEFR-J(セファールジェイ)です。

つまり、2 年生の中には、自分は英語が苦手で、授業についていけないと思っている人がいるかも知れませんが、それは誤解です。誰もが、少なくとも中学校卒業レベルには既に達しています。

1 年生の中には、まだ LA や EI の授業で先生の話がよく理解できないとか、先行きに不安を抱えているとかいう人がいるかも知れませんが、心配ありません。なぜなら英検 IBA の得点平均は、昨年同時期の 1 年生、つまり今の 2 年生より、君たち 1 年生の方が少し上だからです。今の 2 年生が、先行きを心配することはない、と言う証です。だから、1 年生の皆さんもこのまま努力を続けていけば、2 年生のレベルには達するだろうと言えます。唯一の先輩がそういう証を示してくれました。2 年生諸君、ありがとう。(拍手)

今日お話ししたことは、本校で特徴的な GS の学習成果を例にしましたが、他の教科の学習や、教科外の多くの活動についても、同様のことが言えます。

さて、師走の「師」ではなくても、皆さんも忙しい年の瀬を迎えるのではないのでしょうか。どうか心身の健康に十分気を付けて、2020 年の最後の月を健やかに送って、今年 1 年を締めくくりましょう。